

整理番号	28-13	事務事業名	東西連絡路管理事業	作成部署	建設部土木事務所	電話	内線760
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名 齊藤順二	課長職名	高橋孝一	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H11	根拠法令等	道路法第8条、第42条				
〃終了予定年度							
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	北広島駅東土地区画整理事業で整備された市道エルフィン通線(東西連絡路)は、JR北広島駅に隣接する橋梁構造となっており、市民交流を目的とするエルフィンパーク交流広場、市民サービスコーナーやドーム型の屋根があるなど特殊な条件に対応する道路の維持管理を行っている。						

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	高い都市機能を持ち、活力にあふれるまち	(第5章)
	節	道路と交通	(第3節)
	施策	市内幹線道路・生活道路等の整備	(第1施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	市道エルフィン通線を利用する人	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	市道エルフィン通線は、北広島市の玄関口として「ふるさとの顔づくりモデル土地区画整理事業」で整備されたものである。市民に多様な憩いと集いの場を提供し、コミュニティ活動の助長及び交流の促進を図るエルフィンパーク交流広場などがあるため、清掃業務や警備業務などにより快適で安全な道路空間の維持に努めるものである。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(補助金等の場合は団体等の活動内容)	16年度まで	平成12年度～平成16年度 日常清掃委託、警備委託、エスカレーター等管理委託、施設修繕
		17年度	上記と同様

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財	2,740	2,664	2,696	2,696
	一般財源	43,816	43,877	40,337	40,337
合 計	46,556	46,541	43,033	43,033	
人 件 費 (概算)	人 数(年間)	0.50	0.50	0.50	0.50
	1人当り年間平均人件費	9,235	9,000	9,000	9,000
	= ×	4,618	4,500	4,500	4,500
総事業費 +		51,174	51,041	47,533	47,533

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	施設管理面積(m ²)	3,165m ²	3,165m ²	3,165m ²	3,165m ²
	通路等清掃	2,990m ²	2,990m ²	2,990m ²	2,990m ²
	24時間警備	一式	一式	一式	一式
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	(代替指標)				
	施設管理面積(m ²)	3,165m ²	3,165m ²	3,165m ²	3,165m ²
	通路等清掃	2,990m ²	2,990m ²	2,990m ²	2,990m ²
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	1m ² 当り管理コスト				
	(総事業費÷施設管理面積)	16.2千円/m ²	16.1千円/m ²	15.0千円/m ²	15.0千円/m ²

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	本市の顔である当該路線は、JR利用の利便性や高まる交流広場の活用状況など、利用者数は年々増加しており、今後も増加するものと思われる。したがって、今後は、より快適な道路空間の確保のため、質の高い維持・管理が求められると共に経過年数による施設修繕費の増加が予想される。
---------------------------------	--

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市道の維持管理なので、市が行う事業である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	当該施設利用者に安全で快適な道路空間の場を提供することであり、目的は適切である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。他の手段や委託化などの可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	特殊な道路施設であることから、その維持管理の多くは専門業者に委託している。委託業務が多岐にわたっているため、連絡調整などが繁雑になっている。	委託業務の統合化。
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	今後増大することが予想される維持管理費の負担軽減することが課題である。	エルフィンパーク交流広場の利用料や広告宣伝料などに収入源を求め、維持管理費に充当する検討を進める。

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	本市の顔である本路線の利用者数は、年々増加してきているが、快適な道路空間の確保に努めているので、概ね成果が上がっている。	よりきめ細やかな管理を行う。
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	特殊な道路施設であり、その維持管理の多くを専門業者に委託しており、概ね効率的である。	委託業務の統合により、コスト削減を図る。

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法等を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	施設については、利活用が図られ順調に利用者が増加してきている。その反面、施設破損被害など、施設管理上の問題も抱えている。今後、委託業務の統合など、より効率的な施設管理を進めていく必要がある。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	施設管理面では、多岐にわたっている委託業務の統合化を図るなど、業務の煩雑さの解消やコストの削減を図っていく。また、交流広場の利用料や広告収入など、収入確保の検討も行うこと。